

# みなみあいづ

議会だより

第48号

平成30年4月25日

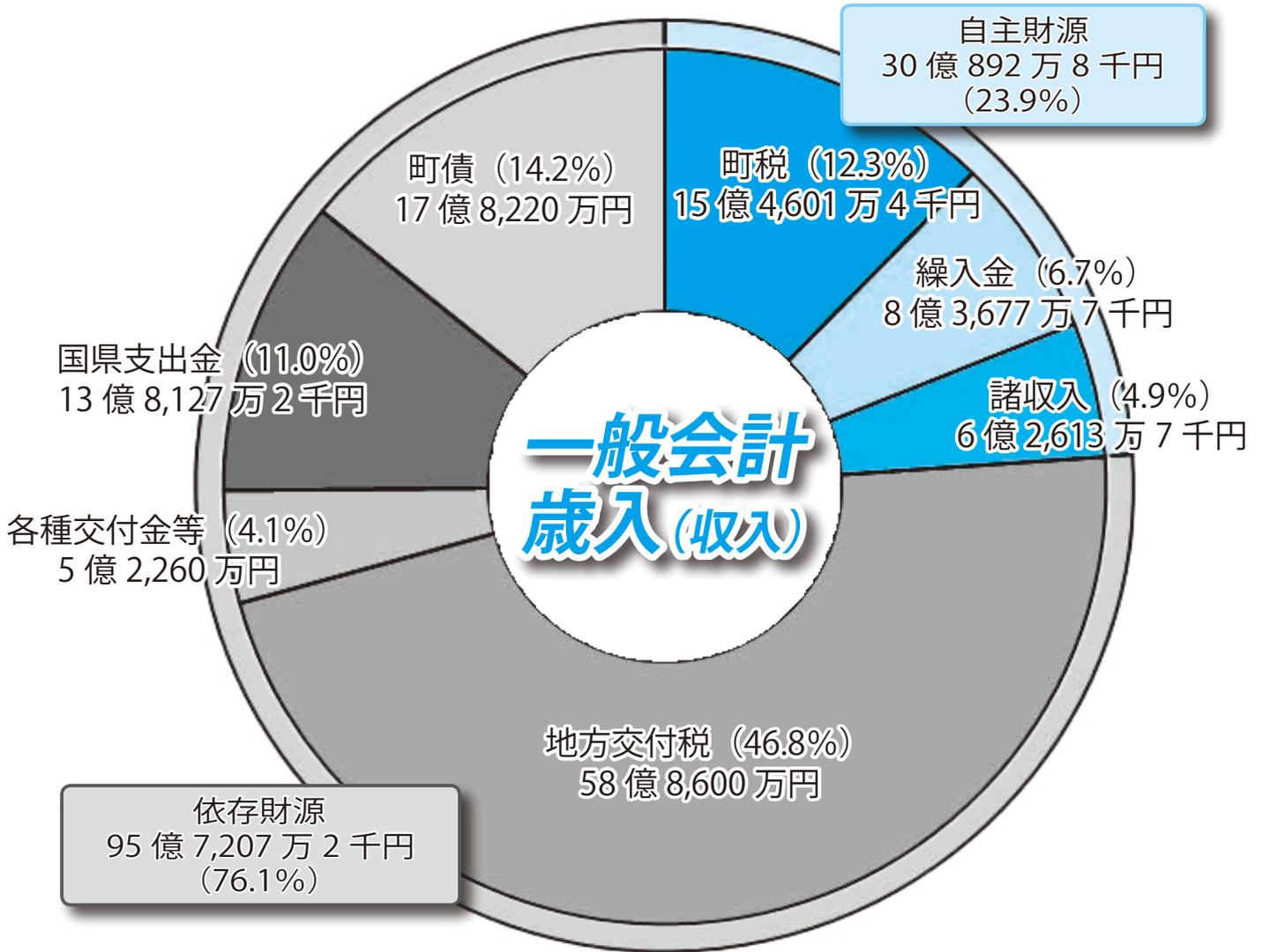


- 3月定例会・・・・・・・・・・・・・23分  
平成30年度当初予算概要・議案審議など  
特別委員会報告  
議員定数・議員報酬に関する条例の一部改正
- 一般質問・・・・・・・・・・・・・12分  
8人の議員が町政を問う
- 委員会活動報告・・・・・・・・・・・・・21分
- 議会報告会・・・・・・・・・・・・・23分
- 町民の声・・・・・・・・・・・・・24分

みんな仲良く遊ぼうね  
田島保育園 入園式

# 100万7千円

一般会計  
125億8,100万円



### 【当初予算のポイント】

平成30年度の一般会計当初予算は、歳入歳出の額がそれぞれ125億8,100万円となりました。

広域消防署新庁舎や伊南学校給食センター建設事業などの大規模事業が動き出すものの、財政健全化に配慮しつつ、事務事業の重点選別に努め、歳出予算の縮減が図られた結果、前年度と同額の予算となりました。

### 【平成30年度重点施策】

- ①働く環境の充実と町民所得の向上
- ②福祉と子育て環境の充実
- ③地域力の向上
- ④社会資本整備の充実
- ⑤安全安心の地域づくりへ向けた防災体制の充実

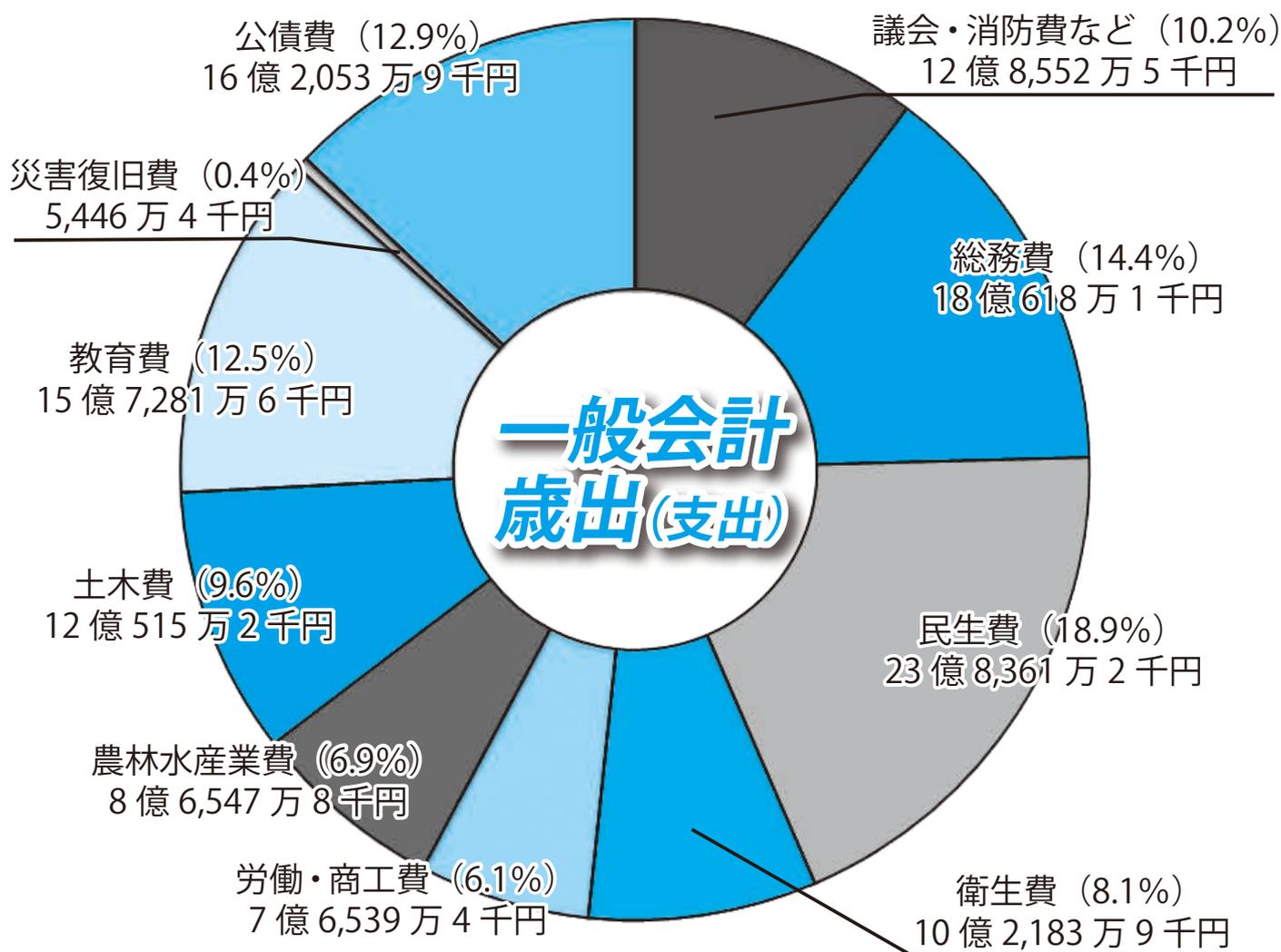
一般会計当初予算の推移



# 平成30年度 当初予算 総額184億5,

平成30年第1回定例会が、3月9日から16日までの8日間の会期で開催され、町からは、条例制定・改正・廃止16件、平成29年度補正予算6件、平成30年度当初予算7件、報告1件、諮問1件、その他の議案11件が提出されました。

また、議会からは議員提出議案が2件、委員会提出議案1件が提出され、慎重な審議が行われました。



【平成30年度 各種会計当初予算】

会計区分	一般会計	特別会計	特別会計					公共下水道	企業会計
			国民健康保険	後期高齢者療	介護保険	農林業集落排水	水道事業		
予算額	125億 8,100万円	48億 10万円	18億 1,300万円	2億 2,970万円	22億 2,780万円	1億 4,660万円	3億 8,300万円	10億 6,990万7千円	
前年度比	0円	▲3億 3,800万円	▲4億 3,900万円	+1,140万円	+1億 160万円	▲600万円	▲600万円	▲2億 9,332万6千円	

# ともに手を携え、みんな目指そう 着実な地域活力の向上！

【一般会計】

(単位：千円)

事業名	予算額	事業目的・内容
地域公共交通網形成計画等策定事業	8,896	町内公共交通の効率的、効果的な運行形態や利便性の向上を目指し、地域公共交通網形成計画を策定
ひきこもり者社会復帰支援事業	3,000	ひきこもり者を把握し、訪問・訓練・社会復帰のための活動場所の提供と訪問事業を実施
成年後見制度利用支援事業	4,998	判断能力が十分でない高齢者等に対して、成年後見制度をはじめとする制度等の紹介や利用支援を実施
産後ケア事業	1,307	産後の母子に対して心身のケアや育児のサポート等を行い、産後も安心して子育てができる支援体制を確立
第2次環境基本計画策定事業	6,642	計画策定から10年が経過する町環境基本計画を改定し、現状に沿った計画を策定
ICT人材育成事業	462	田島・南会津・只見高校及び町内に住所を有する高校生を対象に、ICTへの関心を高め、地元企業への就職を促すための人材育成事業を実施
森林の仕事体験事業	250	林業従事者数を増加させるため、林業に従事したい人を対象に短期的な林業体験事業を開催
稲作農家支援事業	23,300	平成30年産米から米の直接支払交付金が廃止されることから、稲作農家の収入減少を緩和するための支援を実施
物産品販売促進事業	1,936	特産品の販売促進のため、町の特産品である地酒、漬物、木工品等を紹介するガイドブックを製作
人と自然が未来に輝く観光地域づくり事業	3,125	観光による地域づくりを推進するため、観光客の動向調査やワークショップを開催
観光情報発信事業	3,024	町の観光情報の発信力強化のため、観光プロモーション映像を更新し、無料動画サイト等で情報発信を実施
観光誘客プロモーション事業	11,000	新たな誘客と観光PRのため、町の観光資源やイベントを紹介するCM放送等を実施
四季の彩りフォトコンテスト事業	1,785	通過型観光から滞在型観光への転換により、観光客の増大を目指し、年間を通じたフォトコンテストを実施
リバティ会津利用向上促進事業	2,160	会津田島駅を利用する観光客に地酒をPRするため、駅構内に清酒有料試飲機を設置
リバティ会津1周年記念事業	2,000	たかつえカントリークラブと会津高原アストリアホテルズの宿泊パッケージプランによる首都圏からの誘客を実施
消防車両更新事業	20,000	小型動力ポンプ付積載車2台を更新(羽塩、白沢)
消防車両格納庫建設事業	20,513	老朽化した消防車両格納庫の建て替え(岩下)
全国瞬時警報システム新型受信機導入事業	3,564	緊急情報の伝達体制の強化のため、全国瞬時警報システム(Jアラート)の新型受信機を導入
東京オリンピック合宿地誘致事業	400	選手との交流等により全国で活躍できる人材の育成や地域活性化のため、2020年東京オリンピック事前合宿地の誘致活動を実施

歳入全般  
財産収入（立木売却収入）

問

750万円が計上されていますが、どこを予定しているか。

答

八総地区のカラマツ林と界地区のスギ林を予定しています。

総務費  
新庁舎駐車場整備工事請負費

問

完成時期は。

答

庁舎機能を考えると、ある程度距離が出るのはやむを得ないと考えます。

答

今年7月の祇園祭前の完成を目指します。

問

旧庁舎の駐車場に比べて、車を降りてから窓口までの距離が遠くなったように感じますが、サービスの低下にならないか。

問

足の不自由な方などの交通弱者の方が車で来られた場合の乗り入れは。

答

ロータリーの近くに障がい者用の駐車スペースを設置します。

総務費  
南会津ワカモノ会議事業補助金

問

これまでの実績と今後の計画は。

問

分など、さまざまなイベントの企画実施や、首都圏に暮らす本町出身者の若者を参集し、「内からの目・外からの目」から故郷を見つめなおす意見交換を行いました。

答

若者を中心とした魅力あるまちづくりを行うため、平成29年度からスタートしました。「若者が元気もりもり楽しんでる町」を基本理念として、山王茶屋での映画上映、たかつえスキー場での節

今後は、地元高校生との意見交換や、スキー場を活用した交流など、より実践的な活動を企画してまいります。



ワカモノ会議主催「EXTREME 節分」イベントのようす  
(平成30年2月3日 たかつえスキー場)

農林水産業費  
鳥獣被害対策遺伝解析委託料

問

委託先と委託内容は。

問

ホンジカのDNAを解析し、行動範囲を明らかにしていくことで、今後の捕獲活動や個体数調査に活用することを目的としています。

答

委託先は福島大学を予定しています。町内外で捕獲した二



鳥獣対策専門員によるニホンジカ調査のようす



議案第22号

### 教育長の任命

#### 再任で同意

任期満了に伴う教育長の任命案が提出され、審議の結果、全会一致で同意されました。任命された星英雄氏は、平成27年4月から教育長に就いています。



星 英雄氏

再任にあたり、「町の教育大綱の理念である『次世代の地域を担う人材の育成』に、町民とともに取り組んでまいります」とあいさつを述べられました。

さらなる教育環境の充実が期待されます。

委員会提出議案第1号

### 国へ意見書を提出

#### 採択 福島県最低賃金の引き上げと早期発効を 求める意見書

福島県の最低賃金は時間額で「748円」ですが、これは政府が目指すとしている全国加重平均1000円には程遠い金額であり、その水準は平成18年から現在まで全国31位と低位にあります。

県内勤労者の賃金水準や経済情勢などと比較しても極めて低く、一般的な賃金の実態に見合った十分な水準の引き上げが重要な課題となっています。

よって、最低賃金法の趣旨を踏まえ、最低賃金を引き上げる環境整備に向け、中小・地場企業に対する支援策の強化などを強く求めます。

#### 請願（陳情）書の提出方法

請願（陳情）の提出は、次の記入例により必要事項を記入し、事前に議会事務局へ連絡のうえ、提出してください。

【紹介議員】

◆請願は1名以上 ◆陳情は不要

【受理できない場合】

◆郵送などによる請願・陳情  
◆町民以外から提出された陳情

平成 年 月 日

南会津町議会議長 へ

あて 請願（陳情）者の  
住所  
氏名 ①  
紹介議員（請願のみ）  
氏名 ②

〇〇〇〇〇〇に関する請願（陳情）

1. 請願（陳情）の趣旨

文教厚生委員会所管事務調査（学校教育課）

### 伊南学校給食センター建設

現在、伊南小学校、南郷小学校、南会津中学校に給食を提供している伊南学校給食センターの建て替え工事が行われます。

現在の給食センターは昭和55年に建設され、老朽化が進むとともに搬入口と搬出口が同じで、現在の法令基準に合わない構造となっています。

今年6月から建築主体工事が開始され、平成31年7月完成予定で、場所は伊南小野木クリニツクの東側（町有地）です。

新給食センターは現在と同様に伊南、南郷地域の小中学校に給食を提供します。

建設主体工事、電気設備工事、厨房設備工事などの総事業費として、4億4522万円が予算計上されています。



伊南学校給食センター建設予定地（古町地内）



## 議員定数と議員報酬に関する特別委員会 最終報告

### 特別職報酬等審議会答申

本町は、南会津町として4町村が合併してから12年を経過しようとしている。その間、特別職の報酬等については平成27年に議会の常任副委員長報酬額の新設が行われたのみであり、その他の改正は行われていない。

また、この度「議員定数と議員報酬に関する特別委員会」委員長より議会議長に対して報酬額について増額することが適当である旨報告されていることから、今日の町の財政事情、社会経済の動向等を幅広く視野に入れ、その額について適正かどうかを判断するために、総合的かつ慎重に審議を行った。

今回の決定額は、合併時に定められた現行の額を10,000円（5%程度）増額としたが、社会経済の状況や類似団体の報酬額等を勘案し、住民感情にも十分配慮した結果として判断したものである。

（中略）

なお、審議会においては、報酬増額の明確な根拠について疑念を呈する意見が多数あったものの、最終的には、山積する町政の課題に対応すべく、報酬の増額により、議員各位の一層の活躍を促し、さらには議会の活性化が図られるよう期待を込めての結論に至ったことを付記するものである。

特別職報酬等審議会が  
答申

町の特別職の報酬等  
について審議する「特  
別職報酬等審議会」が  
開催され、「特別委員  
会」が中間報告をした

議員報酬月額「3万円  
増額」について審議  
を行い、左記のとおり、  
答申がありました。

特別委員会は、審議  
会の答申を受け、議員  
定数と、議員報酬を下  
記のとおり決定し、最  
終報告を行いました。

特別委員会は最終報告  
を決定

議員定数と議員報酬に関する特別委員会は、3月定例会で、議員定数と議員報酬に関する最終報告を行いました。

## 議員定数と議員報酬に関する特別委員会 最終報告

- ・ 定数2人減（18人⇒16人）
- ・ 報酬月額1万円増額（22万円⇒23万円）

### 特別職報酬等審議会答申の報酬月額

区分	現行	答申額
議長	314,000円	324,000円
副議長	243,000円	253,000円
常任委員長	228,000円	238,000円
常任副委員長	222,000円	232,000円
議会運営委員長	228,000円	238,000円
議会運営副委員長	220,000円	232,000円
議員	220,000円	230,000円

## 答申を受けて 特別委員会の結論

**厳しい答申内容**  
特別委員会では、この答申内容を極めて厳しい内容であると受け止めています。

とりわけ1年間という長期に渡る全議員を対象とした活動調査を行った原価方式による議員報酬の算出方法に

対する理解が不十分であると思われること、さらに近隣町村との比較方式が重視されたことは、これまで平成22年から2度の特別委員会を設置し、議会活動や議員活動の在り方を踏まえ、住民の声を真摯に受け止め調査、議論してきた過程や結果を十分に理解されなかった答申であったと考えます。

しかしながら、町民を代表する審議会の答申であり、住民説明会でも厳しいご意見があったことを鑑みると、本答申内容を受け止めざるを得ないとの結論に至りました。

## まとめ

### 長年に渡る調査研究の集大成として

最後に、これまで南会津町議会では平成22年12月、平成26年3月、平成28年3月と、3回に渡って議員定数と議員報酬に関する特別委員会を設置し、調査研究を重ねてきました。南会津町議会基本条例では、議員定数と議員報酬は「議員自らが決める」としています。これは、二元代表制の目的、議会の役割、議会の権限の重みを議員自らが認識し、あるべき姿を示していくことを意味しています。今回の報告はこれまでの調査研究の集大成であり、一定の結論であると考えます。

### 定数と報酬の今後

今後、さらに人口減少が進み、4つの地域、100を超える行政区の形も変化していくと推察されます。また、総務省の「※1地方議会のあり方に関する研究会」（座長：小田切徳美明治大教授）では、地方の町村議会の担い手不足を懸念し、新たな議会制度を提案する動きも見られ、人口減少社会における地方議会のあり方については、今後さらに議論が深まっていくことが想定されます。このような状況から、今後の議員定数と議員報酬については、国や他地域の動向を踏まえながら検討していくことが適切と考えます。

### 目指すべき議会の姿

町民は議会活動、議員活動の活性化に大きな期待を持っています。今後さらに議員の資質向上や議会の活性化に取り組み、住民の負託に応えられる議会づくりを目指していかなくてはなりません。

### 用語

#### ※1 地方議会のあり方に関する研究会

総務省が、人口減で議員のなり手がいない小さな町村議会のため「集中専門型」と、議員の負担を減らし多くの人が掛け持ちできるようにする「多数参画型」を提言した。

# 条例の一部改正「可決」

次回の一般選挙から

定数 18 人を  
16 人に

報酬月額  
1 万円の増額

平成 30 年第 1 回定例会では、議会構成の根幹とも言える議員定数と報酬に関して、室井嘉吉議員、大桃英樹議員、貝田美郎議員、湯田賢太郎議員、丸山陽子議員、楠正次議員の 6 人から条例の改正案が提出されました。

議案に対し、質疑・討論を行い、原案のとおり可決されました。

議員提出議案第 1 号

## 議会議員定数条例の一部を改正する条例

### 提案理由の説明

議員定数と議員報酬に関する特別委員会の最終報告に基づき、町議会議員の定数を現行の 18 人から 2 人減じて 16 人とするものです。

#### 反 対

##### 森 秀一議員

私たち議員は、住民生活の現状把握や、住民の声に耳を傾けるなどのきめ細やかな対応が求められています。

本町の面積は 886.47km<sup>2</sup>と、県内市町村でも 2 番目に広大であり、100 を超える集落が点在していることから、地理的状况に合った議員数が必要と考えます。

また、近隣の下郷町や只見町の人口は、本町の約 3 分の 1 ですが、いずれも定数は 12 人であり、一般的なガイドライン「人口 1,000 人に対して議員定数は 1 人」に基づく定数の減には疑問を感じます。

当面の間、現行の 18 人が適当であると考えため、議員定数の削減案に反対します。

#### 賛 成

##### 大桃英樹議員

私たち議員は、議会基本条例を策定し、二元代表制のもと、議員自らがその重みを考えながら、最良の意思決定をしてきました。

これまでの議員定数と議員報酬に関する特別委員会の調査を進める中で、住民アンケートや住民説明会を行ってきましたが、どうしても人口減少と向き合わなければなりませんでした。

人口は減るのに、定数は減らないということは住民一人あたりの負担も増えるということです。

議会基本条例の原点に立ち返り、議員自らが身を切り、質を高め、住民と寄り添っていくために、議員定数の削減案に賛成します。

討  
論

### 議員定数の変遷

任 期	定 数	備 考
平成 18 年 3 月～平成 19 年 4 月	52 人	在任特例
平成 19 年 5 月～平成 23 年 4 月	22 人	合併後初の改選
平成 23 年 5 月～平成 26 年 4 月	18 人	定数 4 人減
平成 27 年 5 月～平成 31 年 4 月	18 人	
平成 31 年 5 月～平成 35 年 4 月	16 人	定数 2 人減

# 議員定数・報酬に関する

議員提出議案第2号

## 議会議員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

### 提案理由の説明

議員定数と議員報酬に関する特別委員会の最終報告及び特別職報酬等審議会の答申（詳細は8～9ページに記載）に基づき、町議会議員の報酬額（月額1万円増額）を改定するものです。

#### 反 対

##### 山内 政 議員

今回の特別委員会の最終報告は、過去2回にわたる特別委員会の議論の積み重ねの上にあります。

特に、特別委員会の調査の中で、活動量を数値化し、客観的根拠とする前回の特別委員会からの算出方式を用い、より正確な活動量を示せたことは、他の議会と比べても、誇れることと思いますが、特別職報酬等審議会では全く理解されなかったことは残念です。

議会基本条例は、「議会に関する基本的事項を定める条例であり、議会における最高規範である」としています。

今回の提案内容は、議会基本条例に沿った内容とは違うものと考え、基本条例を支持する立場から、報酬額の改定に反対します。

##### 森 秀一 議員

議会基本条例では「議員報酬の改正に当たっては、行財政改革の視点だけではなく、町政の現状と課題、将来の予測と展望を十分に配慮するとともに、議員活動の評価等に関して町民の意見を聴取するため、参考人制度及び公聴会制度を十分に活用する」としており、議員定数を減じることを条件に、議員報酬を増額することは、納得できません。

報酬額は現行のままが適当と考えるため、改定に反対します。

#### 賛 成

##### 楠 正次 議員

特別委員会の最終報告で示されたとおり、特別職報酬等審議会の答申や、住民説明会での意見を真摯に受け止め、報酬額の改定に賛成します。

##### 大桃 英樹 議員

特別委員会では、定数と報酬は別々に考えていくことを前提に調査を行い、報酬については、議員の活動を十分に行うために必要な額はいくらかということを求めてきました。

住民から、議員は何をやっているかわからないという声があることから、議員活動の成果が見える化するために、全議員を対象に活動調査を行い、活動量の数値化を行ってきました。

また、議員の担い手不足の不安もあることから、新たな担い手が安定した気持ちで議員活動ができるよう、未来志向で考えていくことの必要性も求めてきました。

中間報告では、報酬額の3万円増という結論を示しましたが、特別職報酬等審議会の答申や、住民説明会では厳しい意見もあり、真摯に受け止め、1万円増としました。

今後の議員活動をしっかりやっていくことを示すためにも、報酬額の改定に賛成します。

討  
論

### 採 決 結 果

議案名	採 決 結 果	貝 田 美 郎	森 秀 一	丸 山 陽 子	渡 部 訓 正	室 井 英 雄	湯 田 良 一	大 桃 英 樹	湯 田 賢 太 朗	湯 田 哲 次	楠 正 次	山 内 政	高 野 精 一	星 光 久	菅 家 幸 弘	阿 久 津 梅 夫	星 登 志 一	室 井 嘉 吉
議員定数条例の一部を改正する条例	可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
議員報酬に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	●	○	○	○	欠	○	○

【○=賛成】【●=反対】【欠=欠席】

※議長は採決に参加しません。

# 一般質問



8人の議員が登壇

## 登壇順序・質問項目

- 1 **星 登志一 議員**・・・13分  
①さゆり荘建替計画の課題  
②ヤマザクラ1万本計画の経過と今後の計画  
③アクティブラーニング導入の受け入れ準備計画
- 2 **山内 政 議員**・・・14分  
①地域おこし協力隊受け入れ事業  
②中学校運動部活動改革指針
- 3 **渡部 訓正 議員**・・・15分  
①林業成長産業化地域創出モデル事業の推進に向けて
- 4 **森 秀一 議員**・・・16分  
①集落応援交付金事業の検証は  
②ゆるキャラナンバープレートの導入は
- 5 **湯田 哲 議員**・・・17分  
①除雪事業と除雪弱者支援  
②高校生を対象にしたICT人材育成事業  
③小中学校のタブレット授業
- 6 **丸山 陽子 議員**・・・18分  
①孫育て手帳の作成を  
②就学援助の入学前支給を
- 7 **湯田賢太朗 議員**・・・19分  
①融雪剤塩化カルシウム散布  
②町の観光地づくり  
③ふるさと納税
- 8 **室井 嘉吉 議員**・・・20分  
①高齢者施設の充実  
②結婚支援策

平成30年3月定例会の一般質問は、14～15日の2日間にわたり行われました。一般質問は、議員が町の行政全般にわたり執行機関に問題点をただし、所信の表明を求めて政治姿勢を明らかにするものです。



町政を問う  
一般質問

# 建設費高騰の今なぜ

町長＝建築費用の動向を見極め進めたい

**問**

さゆり荘建て替えにかかる総工事費の概算額は10億1千万円、旧施設の解体工事費1億4500万円とのことだが、東京オリピックを控え、人件費や資材の高騰による工事費の追加対応は。

**町長**

一部では人件費や資材単価の高騰が懸念されますが、報道されておられますが、一方で今後落ち着くという見方もある状況です。

東京オリピックによる建築費用の高騰がどの程度なのか、予測するのは困難ですが、設計業務を進めていく中で、建築費用の動向を見極めながら、進めていきます。

**入込を確保できるか**

町長＝さまざまな方法を検討

**問**

平成28年度の宿泊実績7947人のうち3000人は平成30年度から、さいたま市立館若少年自然の家に移動します。

**町長**

今後、計画どおり入込を確保できるのか。



建て替えが計画されている「界温泉さゆり荘」

**問**

と認識しています。友好都市を含めた新たな誘客先の確保、インターネットや旅行雑誌などによる効果的なPRの手法、リピーターを増やすための方策など、さまざまな方法が考えられますが、本事業が完成するまでの3年間で、指定管理者と協議しながら利用客の確保に努めます。

**今後の過疎債計画は**

町長＝適正な地方債の活用を行う

**問**

さゆり荘建て替えで過疎債7億3610万円計上されているが、今後の過疎債計画は。

**町長**

平成29年度に策定した地方債充当事業実施計画のうち、過疎対策事

**用語**

※1 過疎対策事業債  
過疎地域に指定された市町村が計画を立て、その計画に基づいて行う事業の財源として、特別に発行が認められた地方債。

過疎対策事業債の予定額

年度	金額
平成30年度	7億8,560万円
平成31年度	8億3,400万円
平成32年度	10億8,830万円
平成33年度	5億1,500万円
平成34年度	3億7,240万円
平成35年度	3億3,880万円
合計	39億3,410万円

**その他の質問**

・ヤマザクラ1万本計画の経過と今後の計画  
・アクティブラーニング導入の受け入れ準備計画



# 地域おこし協力隊の受け入れは

町長＝新年度から新たに1人配置

## 問

現在、地域おこし協力隊はどここの地域に配置されていますか。また、その役割は。

## 町長

平成29年度末時点で、3人の隊員を配置しています。

館岩総合支所振興課で、前沢・たのせ集落での地域ブランド商品開発。

総合政策課で、永田集落での古民家を活用した地域づくり。

商工観光課で、観光誘客を主な任務としています。それぞれ活動しています。

## 問

隊員の活動成果は。

## 町長

隊員が星空事業を企画し、地域住民が主体となつて取り組んでいます。平成30年度からは、新たに1人、林業成長

産業化地域創出モデル事業を進める役割として、農林課に配置する予定です。隊員は計4人となります。

今年5月末に任期満了の隊員は、豆腐店を営む目標をもつて、本町に定住する予定です。



南会津町で活動中の地域おこし協力隊の4人

写真左より、西條愛澄さん、宇内優子さん、林華澄さん、江井翼さん

## 中学校運動部活動改革指針とは

教育長＝生徒にとって望ましい環境を構築する

## 問

この指針の内容は。

## 教育長

社会経済の変化により、教育に関わる課題が複雑多様化し、中学校の運動部活動の維持が難しくなったことから、スポーツ庁が、抜本的な改革が必要として、「運動部活動のあり方に関する総合的な指針」を示しました。特に適切な休養日の設定では、平日1日以上、土日で1日以上、週当たり2日以上休むことが示されています。

## 問

この指針を受けて、今後の町の対応は。

## 教育長

今後は、この指針に基づき、休養日、活動時間を明記した「学校に係る運動部活動の方針」を策定することになります。生徒にとって望ましい環境を構築できるよう、地域、保護者、先生方の意見を聞きながら策定します。



# 林業従事者300人を目指す方策は

## 町長＝労働条件の見える化などを協議

### 問

国の林業成長産業化地域創出モデル事業（以下、モデル事業）を活用して、町は林業従事者300人を目指すとしています。その方策は。

### 町長

昨年6月に設立された※1推進会議を中心に、12の分科会で協議しています。

林業への就業促進も分科会で検討し、労働条件の見える化などを協議しています。

まずは林業事業者での従事者増に取り組みます。

### 問

雇用の受け皿拡大を図るためには、森林組合の育成強化が重要と考えますが、町の考えは。

### 町長

森林組合に期待する役割は非常に大きいと認識しており、モデル事業の中で、素材生産の中核事業者として、高性能林業機械の導入補助金を交付するなど、業務効率化・拡大、組織強化の支援を行っています。

今後は、森林資源の適正管理も求められることから、森林の整備を森林組合に委ね、年間を通して業務が行えるよう支援していきます。

### 問

モデル事業の推進に向けて、「おもちゃ鉄道ピノキオ駅」が開催されました。

### 町長

「おもちゃ鉄道ピノキオ駅」は、木製品の持つ温かさ、やさしさ発信と、生活の身近に木製品があることを伝え、木の良さを認識していただくため実施しました。

今後、来場者からのアンケート内容を踏まえ、木の町コミュニケーション館建設の基礎情報として活用します。

### 用語

※1 林業成長産業化推進会議

モデル事業による地域の活性化に結びつける取り組みを推進することを目的としている団体。53の事業所・団体が構成されており、さまざまなワークショップを行っている。



「おもちゃ鉄道ピノキオ駅」のようす  
(平成30年2月10日～18日 会津田島ステーションプラザ(会津田島駅)2階)



# 集落応援交付金事業の効果は

町長＝集落内の各種活動が活発化

平成 29 年度集落応援交付金申請件数

メニュー	事業内容	件数
特別	集落内の除雪に関する事業	73 件
	高齢者の支援に関する事業	72 件
	集落内の自主防災に関する事業	52 件
一般	集落の交流事業	435 件
	環境整備に関する事業	259 件
	景観づくりに関する事業	140 件
	他集落との連携に関する事業	30 件
	伝統文化の復活に関する事業	2 件



町のゆるキャラ「んだべえ」

**問** 対象集落数と実施集落数は。

**町長** 対象集落は 96 集落で、

事業を活用している集落は 94 集落です。

**問** 特別メニューと一般メニューの申請件数は。

**町長** 集落が抱える課題解決を目的に交付しており、使い道を特定して

**問** 交付金の使い道と事業効果は。

**町長** 平成 29 年度の申請件数は左表のとおりです。

いないため、全てを把握していませんが、外灯の LED 化や集落施設の維持費などに使われています。

高齢者の安否確認や、ふれあいサロンの実施による交流の場づくりなどの取り組みが活発化しています。

また、伝統文化の復活や集落内交流事業の実施により、コミュニティ活動も活発化しました。

## ゆるキャラナンバープレートの導入は

町長＝走る広告塔としての効果を検討

**問** 本町の原付バイクなどの登録台数は。

**町長** 平成 30 年 3 月 1 日現在で、原付バイク 50 cc 以下 712 台、90 cc 以下 54 台、125 cc 以下 64 台です。

**問** ゆるキャラナンバープレートを導入した場合の費用は。

**町長** 現行の原付バイクなど

のプレートは 1 枚 80 円ですが、オリジナルのプレートは、100 枚作製で 1 枚 680 円、300 枚以上作成は、1 枚 420 円です。走る広告塔として PR 効果やナンバー作成に係る費用対効果などを考慮して検討します。



# 除雪弱者の除雪費補助拡充を

町長＝除雪費補助対象要件の拡充は考えていない

## 問

本町では、「高齢者世帯等除雪支援事業」により、除雪費の9割補助や除雪業者の紹介などが行われ、除雪弱者にやさしい対策として高く評価されています。

しかし、扶養家族になっ  
ていてる高齢者は、  
支援の対象になりませ  
ん。  
今後、全町民を対象  
とした除雪弱者への除  
雪費補助を実施して、  
やさしいまちづくりを  
目指し、U・イター  
ン者増につなげる考え  
は。

## 町長

自助や共助を基軸とし

た地域での支え合い活  
動により、地域の方が  
主体となって、克雪に  
取り組んでいただきた  
いと考えていますの  
で、除雪費補助対象要  
件の拡充は考えていま  
せん。

U・イターンの促進  
は、地域の支え合い、  
地域とのつながりの強  
さをPRし、安心して  
生活できる町であるこ  
とを認識してもらうよ  
うに取り組めます。

## 用語

※ICT (アイシーティー)

インフォメーション・アンド・コミュニケーション  
テクノロジーの略語で「情報通信技術」のこと。  
従来はIT (インフォメーション・テクノロジー)  
ジー) が使われてきたが、最近では、情報通信技  
術を利用した知識の共有・伝達などのコミュニ  
ケーションの重要性を伝える意味から、ICTが  
一般的となっている。

## ICT人材育成事業とは

町長＝町内高校生目線で課題解決の糸口を

## 問

「ICT人材育成事業」

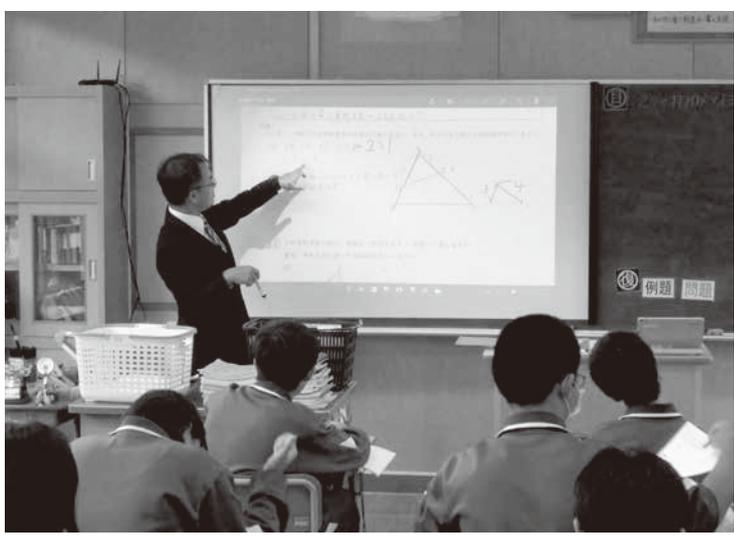
の参加者が地元でソフ  
ト開発会社を起業する  
など期待します。  
この事業の詳細は。

## 町長

この事業は、田島

高校・南会津高校・町  
内在住の高校生を対象  
に、町の誘致企業「株  
式会社EWMファクト  
リー」と連携し、夏休

み中にサマーセミナー  
を実施、その中で本町  
が抱える課題を提起  
し、高校生目線と「I  
CT」という切り口か  
ら解決策を探ってもら  
う事業です。



ICTを活用した授業のようす

その他の質問  
・小中学校のタブレット授業



# 孫育て手帳の作成を

町長＝子育て世代の支援施策の一つとして検討

## 問

子育てをするお父さん、お母さんにとって、おじいちゃん、おばあちゃんをサポートは大変心強いものです。

しかし、育児の考え方や方法が大きく変わってきています。

祖父母世代の皆さんが、今の子育てについて理解を深めて子育ての主役であるお父さん、お母さんをサポートしていくための「<sup>※1</sup>孫育て手帳」を作成する考えは。

## 町長

祖父母が、孫の子育て支援を行うことは、父母の子育て負担の軽減など家族全体の支え合いにもつながるメリットがあると思っています。

子育て方法の世代間ギャップを解消するためにも、現在の子育て方法を祖父母に理解してもらおう手段として、孫育て手帳はとても有効なものと考えます。今後、子育て世代の支援施策の一つとして検討します。

## 用語

<sup>※1</sup>孫育て手帳

近年の育児環境の変化に伴い、育児の考え方や方法が大きく様変わりしていることから、祖父母世代の方に、現代の子育てについて理解を深めて、子育ての主役である父母への適切なサポートを行ってもらうための内容が掲載された小冊子。

県内では福島市が作成・配布を行っている。

## 「就学援助」の入学前支給を

教育長＝他町村の状況などを踏まえ検討

## 問

平成29年3月に、国の補助金交付要綱の改正が行われ、「就学援助」を受けられることのできる子どもについて、全国の4割の自治体が今春から小学校入学前の支給を行う予定です。

入学前は、ランドセルなどを買う揃えるためのまとまったお金が必要ですが、本町も実施する考えは。

## 教育長

要保護児童生徒の保護者は生活保護費の「教育扶助」を受けており支給対象になっていません。

準要保護世帯への入学前の支給は、認定時

期が入学後になるなどの課題がありますが、準要保護世帯などの状況や新たな課題がないかなど、他町村の状況などを踏まえながら検討を行っています。





# 国道の融雪剤散布による河川への影響は

町長＝問題が生じた場合必要な調査を検討

**問**

融雪剤散布の河川への流入は、生物やアユなど川魚の害になっていないか調査が必要では。

**町長**

散布に伴う影響調査は行われておりませんが、これらに起因すると思われる具体的な問題が生じた場合、県は必要な調査を検討する

## ふるさと納税で健康増進の施設を

町長＝既存施設の有効活用を検討

**問**

平成29年度のふるさと納税額は。

**町長**

約950万円を予定しています。

**問**

ふるさと納税を基に、温水プールとスケートリンク併設館の建設としては。

**町長**

ふるさと納税は、重点事業に活用しており、現在、建設の計画はしていません。今後、既存施設の有効活用を検討する中で考えていきます。

**問**

南会津建設事務所管内の塩化カルシウム使用量は。

**町長**

本年2月27日時点の、購入量は約808トン（今冬の使用量見込み）です。

**問**

危険な箇所でのみ散布で、使用料を減らす運動をすべきでは。

**町長**

「南会津地域冬期道路円滑化連絡協議会」において検討を進めていきます。

## 観光地づくりの方策は

町長＝活用をさまざまな視点から検討

**問**

愛宕山に石段を設置し、俳句と川柳の登山道を造っては。

**町長**

現状変更の許可を得ることは難しく、489人の地権者からの同意を得ることも困難と考えます。

**問**

会津田島駅にリバイ駅長犬を配置しては。

**町長**

観光関係者と駅周辺の魅力化対策について議論を深めていきます。

**問**

「5つものスキー場のある南会津町」の看板を設置しては。

**町長**

関係者の皆様と情報発信、観光誘客の有効な手段について議論を深めていきます。



福島県指定文化財史跡「鳴山城跡」の敷地になっている愛宕山のような



# 介護職員の育成確保は

町長＝合同企業説明会や助成制度の拡充で

**問**

特別養護老人ホームなどの介護士や看護師の人材確保の取り組みと成果は。

**町長**

平成27年度、会津地域雇用創造推進協議会の介護職員研修講座の実施で4人が町内の介護事業所に就職しました。

また、平成24年度から開催の町内高校生を対象とした合同企業説明会で、平成28年度に、3人の内定がありました。また、平成29年度は内定者がありませんでした。

**問**

介護士などのなり手不足の認識は。

**町長**

介護ニーズが増大するなかで、介護職員などの育成・確保は重要と認識しています。

特別養護老人ホーム入所待機者数  
(平成30年1月末現在)

社会福祉法人名	施設名	入所待機者
南会津会	田島ホーム	98人
	伊南ホーム	
	南郷ホーム	
	下郷ホーム	
	只見ホーム	
桜寿会	優雅	26人
明智福社会	レジデンスふじの郷	14人
合計		138人

**問**

人材確保や情報交換など、介護関係者による集まりの場を設けては。

**町長**

事業者の意見を聞き、必要であれば対策会議

合同企業説明会の開催や、資格取得などの助成制度を拡充し、介護人材の育成に努めます。

**問**

入居待機者希望が南会津会の施設に偏っていないか。

**町長**

平成30年1月末現在の入所待機者は左表のとおりですが、一概に偏っているとは言いがたいと認識しています。

などの開催を検討します。

## 結婚支援策は

町長＝多くの課題を克服し取り組み

**問**

結婚支援策の成果と課題は。

**町長**

「出逢いフェスタ」の開催、縁結びサポーターの配置などに取り組み、これまでカップル20組、結婚が3組です。

独身者の意識変化、対象者数の減少など、各種取り組みへの参加者が少ないことや、縁結びサポーターのなり手不足など多くの課題を抱えながらも、取り組みを強めていきます。

**問**

25歳から45歳までの未婚者の男女別人数は。

**町長**

平成27年の国勢調査で、男性664人、女性313人、合計977人です。



白河市で行われた南愛'S出逢いフェスタ会場のようす(平成30年2月10日開催)

### 総務委員会

貝田美郎・菅家幸弘・室井英雄  
湯田哲・山内政・五十嵐司

さゆり荘建て替え候補地を調査

平成30年2月26日、総務委員会は、さゆり荘建て替え予定地の現地調査を実施しました。

### 候補地の経過

さゆり荘は、平成26年度以前は、修繕を行う計画でしたが、耐震問題・老朽化を精査した結果、現在地での建て替えを行う計画で見直しが行われました。計画は、さいたま市

自然の教室の宿泊の受入れが平成29年度で終了することから、平成30年度から基本設計・実施設計を行うことで進めてきました。一方で、平成29年7月に、福島県より現在地が土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）に指定され、建て替え

地を変更しなくてはならなくなり、4ヶ所の候補地としました。

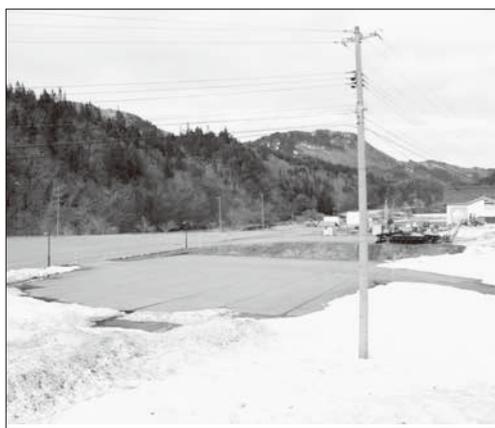
### 調査所見

候補地2と4は、地理的条件に劣ると判断し、候補地1と3に絞って現地調査を行いました。

候補地の状況は左記のとおりです。

このことから、建設場所は、候補地1および候補地3が適当と考えます。

### 候補地1（南郷スキー場駐車場西端）



- ◆地理的状况
  - ・南側が山林だが、日当たりは悪くない。
  - ・山林は一部町有地、一部私有地。
  - ・段差がある。
- ◆課題
  - ・南側の山林に私有地があり、活用が困難ではないか。
  - ・北側がスキー場の駐車場のため、冬季間は早朝の除雪車の音が気になる。防音設備必要か。
- ◆委員会所見
  - 温泉の源泉も近く、費用が一番安く済むと考える。

### 候補地3（南郷スキー場センターハウス東側）



- ◆地理的状况
  - ・スキー場に隣接する。
  - ・平坦で砂利地。
  - ・南側の山林は町有地。
- ◆課題
  - ・温泉の源泉から一番遠い。
- ◆委員会所見
  - 建設工事がやりやすく、近くに街路灯がないので、「星」をテーマにするには好条件と考えるが、源泉が遠いことから、費用は候補地1より大きくなるのは間違いはない。



さゆり荘建て替え候補地位置図

文教厚生委員会

楠 正次・大桃英樹・渡部訓正  
星登志一・室井嘉吉

町内の高齢者福祉施設を訪問

文教厚生委員会は、

平成30年2月19日に、町内の介護老人福祉施設の実態と課題を把握し、今後の介護環境の充実に向け、町内3施設（優雅・田島ホーム・湯花里苑）を訪問し、担当者との意見交換を行いました。

現状と課題

介護老人福祉施設は、いずれも短期入所生活介護（ショートステイ）の利用者が少ないとのこと。町内にデイサービス施設が増えたことか

介護サービス（施設サービス）の種類

介護老人福祉施設  
（特別養護老人ホーム）

寝たきりや認知症で日常生活において、常時介護が必要で、自宅では介護が困難な方が入所します。

食事、入浴、排せつなどの介護や療養上のサービスが受けられます。

新規入所は原則として要介護3以上の方が対象です。

【町内施設（4施設）】

- 社会福祉法人 南会津会
- 田島ホーム・伊南ホーム・南郷ホーム
- 社会福祉法人 桜寿会
- 優雅

介護老人保健施設  
（老人保健施設）

症状が安定している人に対し、医学的管理のもとで、看護、介護、リハビリテーションを行う施設です。

医療上のケアやリハビリテーション、介護を一体的に提供し、家庭への復帰を支援します。

要介護1から入所することができます。

【町内施設（1施設）】

- 医療法人社団 仁嘉会
- 湯花里苑

介護療養型医療施設  
（療養病床等）

急性期の治療は終わったものの、医学的管理のもとで長期療養が必要な人のための医療機関です。医療、看護、介護、リハビリテーションなどが受けられます。

町内にはありませんが、会津では会津中央病院が該当します。

調査所見

ら、今後は、ショートステイを減床し、施設入所を増床させ、入所待機者を減らすことが検討されています。

訪問時点での南会津町内在住者で、施設入所待機者数は138人です。

介護職員の確保も課題であり、募集広告を出しても、応募が無いのが現状です。

月に一度程度、町内施設の施設長と懇談の場を設け、課題を出し合い、共通課題は行政

担当者や社会福祉協議会の担当者も交え、課題解決のために協議すべきと考えます。

施設設置の場合は国・県・町と補助金を支出していますが、運

営に関わる補助は制度化されておらず、所有形態により、町の支援が変わることから、どの施設も同様の支援ができるようにすべきと考えます。

過重労働の対価として現状の介護職の賃金

は低いため、改善が進むように、国の社会保障費を見直すよう要望していく必要があると考えます。



「特別養護老人ホーム 優雅」での意見交換の様子

### 和泉田区で開催

日時	1月28日(金) 午後7時00分から
会場	和泉田農村環境改善センター
参加者	区長ほか9名
出席議員	楠 正次・丸山陽子・室井英雄 湯田良一・室井嘉吉・五十嵐司
質疑事項	①南郷総合センター工事契約の一部変更内容は。 ②新小豆温泉の状況は。 ③新規就農者に対する支援策は。
要望・意見	①西部地区に工場誘致をしてほしい。 ②町道和泉田2号線の改修工事を早期に行ってほしい。 ③さゆり荘、南郷スキー場の存続を。



※質疑事項および要望・意見は一部のみ掲載しています。なお、いただいた意見や要望は所管委員会で調査し、結果を区長宛に回答します。

#### 【議会報告会を開催しませんか】

行政区長や各種団体などの代表者を通して、議会議員または議会事務局へご連絡ください。その際に、開催希望日などがあれば、併せてお知らせください。

開催時期は、定例会終了後、概ね1カ月半以内で、申込受付は先着順で3団体までとなります。

#### 【表紙の紹介】

# 田 島 保 育 園



田島保育園の保育目標は、「心の力 正義感や道徳心を育む 創造・想像する力を育む」  
「体の力 体力や柔軟性を育む」  
「学ぶ力 理解力や思考力、洞察力を育む 小学校教育への連続性を高める」の3つです。  
子どもたちが持っている「可能性」を最大限に引き出せる環境作りを目指し、和太鼓やスキー保育などに取り組み、「子どもの「やってみよう」の気持ちを大切に一人一人の力を伸ばしていきます。



冬はスキー保育も行っています



祇園祭での和太鼓演奏 「格好いい！」

南会津町へU・Iターンしてきた方へ、移住されたきっかけや町の魅力をインタビューしました。



よねだひでお 米田英雄さん(77)、さちこ 幸子さん(69)  
千葉県船橋市から南会津町(旧伊南村)にIターンし、  
トマト栽培を営んでおり、現在25年目とのことです。

**Q** 南会津町に来られるまでにはどちらにお住まいでしたか？

**米田さん** 千葉県船橋市

です。

**Q** Iターンのきっかけを教えてください。

**米田さん** 定年後どうか考え、農業をやるか

たいと思っていました。

いろいろな調べる中

で、平成5年3月15日に行われた旧伊南村主催の就農促進のシンポジウムに参加したのがきっかけで、古民家を紹介してもらい、移住を決心しました。

**Q** 新たな土地で農業を始めるにあたり、不安はありましたか？

**米田さん** 役場やJAなどから、農地の手配や、ハウスなど農業資材の補助があることや、トマト栽培の指導を受け、翌年からの栽培で1年は収入は無いと考えていたので、特に不安はありませんでした。

**Q** 南会津町の魅力はなんですか？

**米田さん** 地域のふれあいです。一緒に移住してきた母が十二年前に亡くなったとき、近所の方々に手伝っていたいただきました。

毎年、トマトが収穫できた時は、地区内の方に「今年も採れました」とお配りしています。

地区内の方とは親しくお付き合いをしています。

**Q** これまでに困ったことは？

**米田さん** 新潟・福島豪雨で、トマト畑に土砂が入り、栽培不能になったときです。

途方に暮れていたところ、JAや生産組合の方々に土砂撤去などの復旧に協力いただいたので、続けることができました。

**Q** 現在、困っていることはありますか？

**米田さん** 住んでいる家が茅葺屋根なので、維持管理が大変。何らかの補助があればと思います。

**Q** 最後に一言どうぞ。

**米田さん** 身体が続く限り、トマト作りを続けたいと思っています。

## 議会を傍聴してみませんか

議会を傍聴する手続きは簡単です。  
本庁3階の議場傍聴席入り口で住所と氏名を書くだけです。  
傍聴席では、提出された議案も閲覧できます。

**平成30年第2回定例会**  
**6月8日(金)開会予定**

### 議会広報委員会

委員長 森 秀一  
副委員長 丸山 陽子  
委員 貝田 美郎  
渡部 訓正  
室井 英雄  
室井 嘉吉